
平成 29 年度第 2 回彦根市環境パートナー委員会 会議概要

開催日時：平成 29 年 12 月 21 日(木) 14 時 00 分～16 時 00 分

開催場所：彦根市役所西口仮庁舎 4 階 4D 会議室

出席者：野間委員長、田中委員、石崎委員、三田委員、下田委員、大森委員、西川委員
(事務局：辻生活環境課長、吉田課長補佐、草川主査)

【会議の内容】

1. 開会

2. 議事

(1) 基本方向 1～3 各指標の評価

1) 基本方向 1 について

- 自然観察会の参加者数は、荒神山の環境関連イベントなど他の団体の環境活動と共催、協力または後援するなどして実績に加えることで増やせばどうか。
- 自然観察会の参加者数が伸びないのは、現在の生活環境課が 70 年代の公害時代に作られた体制のままであり、外来生物対応や希少動植物保護など自然観察会とも関連の深い現代の環境問題に十分対応できる体制になっていないことが原因ではないか。新たな環境問題に対応できる組織となるため、自然環境課に当たる新たな担当課を設けるべきだと考える。
- 自然観察会の開催は天候に左右されて参加者数が伸びないことがあるということについても評価に記載しておく方がよい。
- 自然観察会開催の周知方法について、近年は SNS を利用した情報発信が効果的であり、特に若い世代には断然効果的なので、市も特に力を入れるべきである。

2) 基本方向 2 について

- 自転車・歩行者道路が整備されてきているが、市内には自転車が車道を通るようになっている箇所もまだあり、自転車と自動車の双方が怖い場所もある。
- 環境こだわり農家実施面積の取組内容については、平成 28 年度の実施内容が具体的にわかるように記載いただきたい。
また、生ごみ処理の普及については指標には挙がっておらず評価はされていないが、できる限り近いテーマの箇所に入れるとよいと思うので、基本方向 5「資源の循環する地域社会づくり」へもっていく。
- 滋賀県温暖化対策課では、環境配慮に努める事業者を環境ビジネスメッセの場で知事が表彰している。事業者の自主的な取組を促すには、表彰制度や賞金を設け、評価することも必要ではないか。

3) 基本方向3について

- ホタル地図を見ると、実際はホタルがいるのに実績に挙がっていない地域もある。その地域で調査をする人がいない可能性もあり、今後は本腰を入れて調べる価値がある。調査方法として、調査票を全戸配布すればどうか。
- 外来魚の駆除は生息数が減ってくるほど大変になる。当初の指標は駆除量でよかったが、駆除量が減ってきたら残りの生息量がどれだけであるかを指標とする方が自然であり、このまま駆除量でずっと評価していくのは難しい時期に来ているので、指標の見直しについて環境審議会で議論いただきたい。

(2) 第3回の進め方および日程について

- 今回のご指摘を反映し、総括などを書き加えて評価報告書最終案を作成し、後日送付するので、修正事項や追加事項があれば期日までにお知らせいただきたい。第3回委員会開催日時は後日連絡する。

3. 閉会